

浜田市定住自立圏共生ビジョン 成果指標の総合評価

(2016年度～2021年度)

1 調査方法

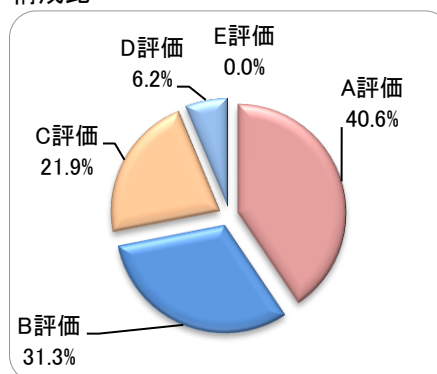
32項目の目標に対し6年間の成果について評価した。

2 調査結果

(1) 各年度の進捗評価

- 「A」 計画どおり、又はそれ以上の成果があった
- 「B」 計画を少し下回る成果があった
- 「C」 計画の半分程度の成果となった
- 「D」 計画を大きく下回る成果となった
- 「E」 ほとんど成果がなかった

構成比



(2) 「成果指標」の進捗状況

	項目数	進捗状況				
		A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
1 生活機能の強化に係る取組	13	5	4	4	0	0
A 医療	1	0	0	1	0	0
B 福祉	6	4	1	1	0	0
C 教育	2	1	1	0	0	0
D 産業振興	4	0	2	2	0	0
2 結びつきやネットワークの強化に係る取組	16	7	4	3	2	0
A 地域公共交通	3	1	0	2	0	0
B デジタル・デバイドの解消に向けたICTインフラ整備	1	1	0	0	0	0
C 道路等の交通インフラの整備	5	2	1	1	1	0
D 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	1	0	1	0	0	0
E 地域内外の住民との交流・移住促進	6	3	2	0	1	0
3 圏域マネジメント能力の強化に係る取組	3	1	2	0	0	0
A 宣言中心市等における人材の育成	3	1	2	0	0	0
合計	32	13	10	7	2	0
	(100.0%)	(40.6%)	(31.3%)	(21.9%)	(6.2%)	(0.0%)

浜田市定住自立圏共生ビジョン 成果指標の進捗状況

(2021年度実績)

1 調査方法

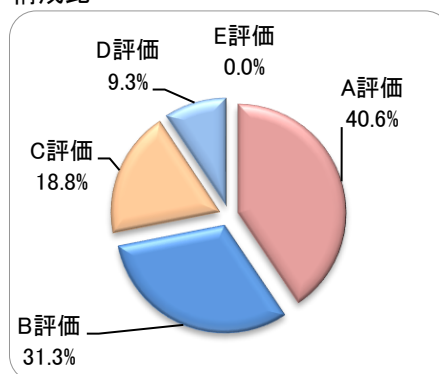
32項目の目標に対する2021度末の現状値から2021年度の進捗状況を評価した。

2 調査結果

(1) 各年度の進捗評価

- 「A」 計画どおり、又はそれ以上の成果・実施があった
- 「B」 計画を少し下回る成果・実施があった
- 「C」 計画の半分程度の成果・実施となった
- 「D」 計画を大きく下回る成果・実施となった
- 「E」 ほとんど成果・実施がなかった

構成比



(2) 「成果指標」の進捗状況

	項目数	進捗状況					
		A評価	B評価	C評価	D評価	E評価	
1 生活機能の強化に係る取組	13	6	3	3	1	0	
A 医療	1	0	0	1	0	0	
B 福祉	6	4	1	1	0	0	
C 教育	2	1	(0→) 1	(1→) 0	0	0	
D 産業振興	4	(0→) 1	1	(2→) 1	1	0	
2 結びつきやネットワークの強化に係る取組	16	6	6	2	2	0	
A 地域公共交通	3	1	0	2	0	0	
B デジタル・デバイドの解消に向けたICTインフラ整備	1	1	0	0	0	0	
C 道路等の交通インフラの整備	5	2	2	0	1	0	
D 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	1	0	(0→) 1	(1→) 0	0	0	
E 地域内外の住民との交流・移住促進	6	(4→) 2	(0→) 3	(1→) 0	1	0	
3 圏域マネジメント能力の強化に係る取組	3	1	1	1	0	0	
A 宣言中心市等における人材の育成	3	1	(2→) 1	1	0	0	
合計	32	(14→) 13	(6→) 10	(9→) 6	3	0	
		(100.0%)	(40.6%)	(31.3%)	(18.8%)	(9.3%)	(0.0%)

連携する具体的事項

1 生活機能の強化に係る取組 13項目

A 医療

エ ヘき地医療確保体制の充実

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 浜田市国民健康保険診療所の常勤医師数の増加（へき地診療所等5施設）	3人	4人	2人	-100.0%	C	健康医療対策課	
※中山間地域の医療を支えるへき地診療所等の医師の人数	2016年度 3人	2017年度 3人	2018年度 2人	2019年度 2人	2020年度 2人	2021年度 2人	6年間の評価 C
	0.0%	0.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	
	B	B	C	C	C	C	
【進捗状況】 地域医療や総合診療に関心のある医師や医学生の研修受け入れに取り組んだが、国保診療所の医師確保にはつながらなかった。							
【成果指標の総括】 新たな医師確保には繋がらなかったが、診療所医師を中心とした医師確保事業やイベントを行うことで地域枠を始めとした医師との関係づくりや医学生への意識づけを行うことができた。							

B 福祉

ア 子育て支援環境の整備

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 認可保育所定員数の増加	1,895人	1,955人					
※認可保育所の定員数	2016年度 1,875人	2017年度 1,980人	2018年度 1,935人	2019年度 1,935人	2020年度 1,845人	2021年度 1,820人	6年間の評価 B
	-33.3%	141.7%	66.7%	66.7%	-83.3%	-125.0%	
	A	A	B	-	-	-	
2019年度以降、目標値を2,000人に上方修正	1,895人	2,000人	1,820人	-71.4%	B	子ども・子育て支援課	
	2016年度 1,875人	2017年度 1,980人	2018年度 1,935人	2019年度 1,935人	2020年度 1,845人	2021年度 1,820人	6年間の評価 B
	-	-	-	38.1%	-47.6%	-71.4%	
	-	-	-	B	B	B	
【進捗状況】 児童数が減少する中、保護者及び施設ニーズを踏まえた定員設定を行った。							
【成果指標の総括】 少子化の影響により、目標値には届かなかったが、保護者ニーズに応じた定員設定を行い、待機児童はゼロだった。また、少子化の中でも民間の保育事業者が安定した経営を行えるよう、施設ニーズに沿った定員設定を行った。							
② 放課後児童クラブ定員数の増加	790人	850人					
※放課後児童クラブの定員数	2016年度 790人	2017年度 825人	2018年度 875人	2019年度 875人	2020年度 905人	2021年度 915人	6年間の評価 A
	0.0%	58.3%	141.7%	141.7%	191.7%	208.3%	
	B	B	-	-	-	-	
2018年度以降、目標値を875人に上方修正	790人	875人					
	2016年度 790人	2017年度 825人	2018年度 875人	2019年度 875人	2020年度 905人	2021年度 915人	6年間の評価 A
	-	-	100.0%	100.0%	135.3%	147.1%	
	-	-	A	-	-	-	
2019年度以降、目標値を905人に上方修正 <目標達成>	790人	905人	915人	108.7%	A	子ども・子育て支援課	
	2016年度 790人	2017年度 825人	2018年度 875人	2019年度 875人	2020年度 905人	2021年度 915人	6年間の評価 A
	-	-	-	73.9%	100.0%	108.7%	
	-	-	-	B	A	A	
【進捗状況】 2020年10月に30名の定員増となり、目標を達成した。							
【成果指標の総括】 放課後児童クラブの増設等により、目標値である905人を達成し、現在、待機児童はいない状況である。							

③ 地域子育て支援拠点数の増加 ※地域子育て支援拠点数	2施設	3施設					
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	2施設	2施設	3施設	4施設	4施設	4施設	
	0.0%	0.0%	100.0%	200.0%	200.0%	200.0%	
	A	A	A	—	—	—	
2019年度以降、目標値を4施設に上方修正 <目標達成>	2施設	4施設	4施設	100.0%	A	子ども・子育て支援課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	2施設	2施設	3施設	4施設	4施設	4施設	A
	—	—	—	100.0%	100.0%	100.0%	
	—	—	—	A	A	A	
【進捗状況】 2018年度に三隅地域、2019年度に旭地域に新たに子育て支援拠点施設が開所した。 また、当市の子育て支援ネットワークの中核施設である「子育て支援センターすくすく」について、2022年度の新築移転に向けて整備を行った。							
【成果指標の総括】 地域バランスを考慮しながら、新たに子育て支援拠点施設2施設を開所することができた。このことにより、子育て中の親子の交流、育児相談、子育てに関する情報提供等を実施し、地域における子育て力の向上に寄与した。							

イ 高齢者・障がい者福祉サービスの充実

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 要介護認定率の増加の抑制（要介護者のみ） ※65歳以上の高齢者のうち、要介護1以上の認定者の割合 <目標達成>	18.8%	19.6%	18.3%	162.5%	A	健康医療対策課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	18.7%	18.6%	18.4%	18.1%	18.4%	18.3%	A
	112.5%	125.0%	150.0%	187.5%	145.0%	162.5%	
	A	A	A	A	A	A	
【進捗状況】 年度ごとで多少の増減はあるが、概ね横ばいで推移しており一定の成果はあった。							
【成果指標の総括】 介護予防把握事業、介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業、その他、浜田市独自の施策としての介護予防教室の普及等により、要支援者の早期発見、運動機能の向上、サロン活動等への積極的な参加につなげることができた。また、総合事業緩和型サービスの報酬改定を行い、利用者がより利用しやすいサービスとすることで介護予防事業の利用を図っている。このような施策により、認定率は横ばいで推移しており目標は達成できたものと評価している。							
② 認知症サポーター養成講座受講者数の増加 ※認知症の人と家族を地域で見守る応援者養成講座の受講者の総数 2019年度以降、目標値を7,500人に上方修正 <目標達成>	3,696人	6,000人					
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	5,262人	5,802人	6,525人	7,176人	7,392人	7,559人	
	68.0%	91.4%	122.8%	151.0%	160.4%	167.7%	
	A	A	A	—	—	—	
3,696人	7,500人	7,559人	101.6%	A	健康医療対策課		
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	5,262人	5,802人	6,525人	7,176人	7,392人	7,559人	A
	—	—	—	91.5%	97.2%	101.6%	
	—	—	—	A	A	A	
【進捗状況】 着実に受講者の積み上げを行っており、現在はコロナ禍で受講者数の増加は低調にはなっているが、ウィズコロナの方針に必要な対策をしながら講習を実施し、受講者の増加につなげている。							
【成果指標の総括】 目標値であった7500人の受講を2021年度中に達成した。また、サポーター養成講座受講者のうち、さらに地域で認知症の方を支える地域づくりであるオレンジチームへ発展させることができ、県内でも先進事例となった。							

③ 地域生活支援拠点数の増加 ※障がい者の地域生活を支援する機能を集約した拠点数	0か所	1か所	0か所	0.0%	C	地域福祉課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	0か所	0か所	0か所	0か所	0か所	0か所	C
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
【進捗状況】 地域生活支援拠点事業実施要綱を定め、浜田圏域自立支援協議会や、法人等へ説明会を実施し、整備の協力依頼を行った。							
【成果指標の総括】 整備には至らなかったが、地域の実情に応じて複数の機関が分担して機能を担う「面的整備型」で、拠点整備を進めることとし、実施要綱を定めた。							

C 教育

ア 読書活動の強化

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 図書館利用登録率の増加 ※市民の図書館利用者カード登録者の割合 <目標達成>	34.3%	40.0%	51.8%	307.0%	A	中央図書館	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	36.3%	40.5%	42.9%	46.1%	42.5%	51.8%	A
	35.1%	108.8%	150.9%	207.0%	143.9%	307.0%	
【進捗状況】 市民との協働により定期的に開催する読み聞かせや読書週間等の各種イベント、各種団体との共同による展示等により読書活動の普及に努めた。							
【成果指標の総括】 毎年度登録者数も増加し、目標を大きく上回ることができた。各館が、ボランティアや各種団体の協力により地域に根差した読書活動の普及を行うことができた。今後も引き続き、市民との協働による図書館運営に努める。							
② 市民一人当たりの図書貸出冊数の増加 ※市民一人当たりの年間の図書貸出冊数	5.0冊	7.0冊	5.3冊	16.5%	B	中央図書館	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	5.4冊	5.3冊	5.8冊	5.6冊	4.9冊	5.3冊	B
	20.0%	15.0%	40.0%	30.0%	-5.0%	16.5%	
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響により、落ち込んだ貸出冊数も蔵書の充実等により2021年度は、コロナの影響前の2019年度には届かないものの近い数値に持ち直すことができた。							
【成果指標の総括】 目標値を達成できなかったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた2020年度以外は策定時の数値を下回ることなく、貸出冊数を維持することができている。今後は、まず、6冊を越える実績となるよう一層の蔵書の充実、情報発信等に努めていく。							

D 産業振興

ア 観光振興

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 宿泊客数の増加 ※市内のホテル・旅館・民宿等の年間（1月～12月）宿泊客数 <目標達成>	225,043人	250,000人	309,462人	338.3%	A	観光交流課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	237,352人	219,299人	224,046人	218,736人	209,006人	309,462人	B
	49.3%	-23.0%	-4.0%	-25.3%	-64.3%	338.3%	
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、県のキャンペーンの効果や、工事関係等の長期宿泊により、宿泊者数が大幅に伸びた。							
【成果指標の総括】 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、宿泊者数が減少した時期もあったが、浜田駅周辺エリアにホテルが2軒新設され、市内の宿泊キャパシティが増加したことや、工事関係の長期宿泊などの影響もあり2021年は宿泊者数が増加した。							

② 合宿等誘致人数の増加 ※合宿等誘致事業の年間利用人数	3,642人	5,000人	1,267人	-174.9%	D	観光交流課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	3,634人	4,036人	3,297人	2,483人	478人	1,267人	C
	-0.6%	29.0%	-25.4%	-85.3%	-233.0%	-174.9%	
	C	B	C	C	D	D	
【進捗状況】 広島P Rセンターとの連携等により合宿誘致を進めている。2021年度は、県内の修学旅行の利用が増えたことで、2020年度より増加した。県内、県外へも営業活動も行った。							
【成果指標の総括】 広島方面への営業活動を実施したものの、大口のリピーター団体からの申請が減少した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により合宿自体が開催されなかったこともあり、目標値に届かなかった。 要綱改正も行き、利便性向上を図った。							

イ 地域ブランド化

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 「どんちっち」ブランド加盟業者数の増加 ※ブランド規格に基づく「どんちっち三魚」の取扱業者（団体）数	130店	140店					
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	136店	138店	143店	143店	142店	146店	
	60.0%	80.0%	130.0%	130.0%	120.0%	160.0%	
	A	A	-	-	-	-	
2018年度以降、目標値を162店に上方修正	130店	162店	146店	50.0%	B	水産振興課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	136店	138店	143店	143店	142店	146店	
	-	-	40.6%	40.6%	37.5%	50.0%	
	-	-	B	C	B	B	
【進捗状況】 4店の事業者の新規加盟があった。							
【成果指標の総括】 どんちっちブランドは推進組織が設立されて20年が経過し、消費地市場を中心に認知度が向上している。顧客に信頼されるブランドづくりのため、今後も関係機関と協力し、規格を遵守した良質な商品の供給を続けていきたい。加盟業者数について、目標達成には至らなかったが、一定の成果が得られたと考える。							
② 振興作物農業産出額の増加 ※振興作物（大粒ぶどう、赤梨、西条柿）の農業産出額	173,295千円	200,000千円	150,084千円	-86.9%	C	農林振興課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	158,671千円	193,627千円	175,982千円	171,566千円	107,182千円	150,084千円	
	-54.8%	76.1%	10.1%	-6.5%	-247.6%	-86.9%	
	C	B	C	C	C	C	
【進捗状況】 2021年は、2020年に続き赤梨において凍霜害が発生し、着果不良となり、収量減となった。西条柿及び大粒ぶどうについては、春先の凍霜害が一部で発生したものの、産出額は微増であった。							
【成果指標の総括】 大粒ぶどうは、リースハウス事業等の導入により、生産量が増加し、産出額も増額傾向である。赤梨は、近年の凍霜害による着果不良や廃園による影響で生産量が減少したため、産出額が減少している。西条柿は、柿加工場の本格稼働により、あんぽ柿の生産が増加し、産出額も増加傾向である。							

2 結びつきやネットワークの強化に係る取組

16項目

A 地域公共交通

ア 地域公共交通網の連携と生活交通の確保

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 生活路線バス1便当たり利用者数の維持 ※生活路線バス1便当たりの年間利用者数	2.0人/便	2.0人/便以上	1.5人/便	-25.0%	C	地域活動支援課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	1.6人/便	1.5人/便	1.5人/便	1.4人/便	1.1人/便	1.5人/便	
	-20.0%	-25.0%	-25.0%	-30.0%	-45.0%	-25.0%	
	C	C	C	C	C	C	
【進捗状況】 従来からの課題である人口減少や高齢者の運転免許保有率の上昇、バス利用（バス停までの移動等）困難者の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出控えの影響も継続しており、目標達成には至らなかった。							
【成果指標の総括】 人口減少や高齢者の運転免許保有率の上昇、バス利用（バス停までの移動等）困難者の増加の影響が予想以上に大きく、第2次浜田市地域公共交通再編計画に基づいて運行計画の見直しを行ったものの利用者の維持を計画どおり進めることは困難であった。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出控えも大きく影響した。							

② 予約型乗合タクシー1便当たり利用者数の維持 ※予約型乗合タクシー1便当たりの年間利用者数	1.8人/便	1.8人/便以上	1.3人/便	-27.8%	C	地域活動支援課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	1.5人/便	1.6人/便	1.8人/便	1.7人/便	1.4人/便	1.3人/便	C
	-16.7%	-11.1%	100.0%	-5.6%	-22.2%	-27.8%	
	C	B	A	C	C	C	
【進捗状況】 従来からの課題である人口減少や高齢者の運転免許保有率の上昇に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出控えの影響が継続しており、目標達成には至らなかった。							
【成果指標の総括】 人口減少や高齢者の運転免許保有率の上昇の影響が予想以上に大きく、第2次浜田市地域公共交通再編計画に基づいて運行計画の見直しを行ったものの利用者の維持を計画どおり進めることは困難であった。 また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出控えも大きく影響した。							
③ 輸送事業に取り組む地域自主組織数の増加 ※主体的に輸送事業に取り組む地域自主組織の数 <目標達成>	1団体	3団体	3団体	100.0%	A	地域活動支援課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	1団体	3団体	3団体	3団体	3団体	3団体	A
	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	B	A	A	A	A	A	
【進捗状況】 3地区においてコミュニティワゴン運送（市からの無償貸与の自家用車を使用した輸送活動）が継続され、その活動を支援した。							
【成果指標の総括】 コミュニティワゴン運送に取り組む地区では、貴重な移動手段として定着している。 一方で、ドライバーの維持や財源の確保等、活動継続に向けた課題解決が必要となっている。							

B デジタル・ディバイドの解消に向けたICTインフラ整備

ア 地域公共交通網の連携と生活交通の確保

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 携帯電話不感地域の解消 ※携帯電話が利用できない集落の数 <目標達成>	8集落	0集落	0集落	100.0%	A	政策企画課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	8集落	8集落	1集落	0集落	0集落	0集落	A
	0.0%	0.0%	87.5%	100.0%	100.0%	100.0%	
	D	D	A	A	A	A	
【進捗状況】 各携帯電話会社への呼びかけもあり、市内の屋外での携帯電話不感地域は0集落となっている。							
【成果指標の総括】 目標値を達成した。 当初目的は達成されたと考える。							

C 道路等の交通インフラの整備

ア 生活幹線道路の整備

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 市道浜田527号線道路改良 ※〔浜田自治区〕浜田駅周辺の市道を整備し、駅南北の連絡を円滑にする。	0%	100%	64%	64.0%	B	建設整備課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	5%	13%	29%	50%	54%	64%	C
	5.0%	13.0%	29.0%	50.0%	54.0%	64.0%	
	C	C	B	A	B	B	
【進捗状況】 踏切北側の道路工事が一部完了した。 完成期日を2024年度に延期した。							
【成果指標の総括】 踏切北側の道路については、一部改良が完了し、交通状況が改善された。 踏切の拡幅工事については、2023年度に完成予定であったが、JR施設工事工程の見直しの結果2024年度見込みとなった。 引き続き、後期基本計画期間内において、早期完成を目指す。							
② 市道小国峠線道路改良 ※〔金城自治区〕狭小な市道の改良を行う。	0%	50%	0%	0.0%	D	建設整備課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	0%	0%	0%	0%	0%	0%	D
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	D	D	D	D	D	D	
【進捗状況】 県道や県河川の改修に伴うため、事業規模が大きく、実施に至らなかった。							
【成果指標の総括】 県と調整を進めた結果、2025年度までに橋梁架け替えが完成する見込みとなった。							

③ 市道戸地線道路改良 ※〔旭自治区〕集落間を結ぶ幹線市道の整備を行う。 <目標達成>	10%	40%	43%	110.0%	A	建設整備課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	13%	18%	26%	32%	40%	43%	A
	10.0%	26.7%	53.3%	73.3%	100.0%	110.0%	
	B	B	B	B	A	A	
【進捗状況】 総延長1,400mの内、340mの改良が完了した。							
【成果指標の総括】 当該市道沿いにある住家から主要地方道浜田作木線を結ぶ区間については改良が完了し、地域住民の利便性が向上した。							
④ 市道谷線道路改良 ※〔弥栄自治区〕主に突角剪除を行う。 2018年度以降、目標値を100%に上方修正 <目標達成>	0%	50%					
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	A
	54%	76%	86%	95%	100%	100%	
	108.0%	152.0%	172.0%	190.0%	200.0%	200.0%	
	A	A	—	—	—	—	
【進捗状況】 全ての箇所が改良が完了した。							
【成果指標の総括】 改良が完了したことで、急カーブ箇所の改善ができ交通の安全性が向上した。							
⑤ 市道白砂1号線道路改良 ※〔三隅自治区〕急カーブ、狭小市道の改良、及び集落の環状機能の充実を図る。 2018年度以降、目標値を100%に上方修正	30%	50%					
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	B
	64%	85%	74%	86%	72%	75%	
	170.0%	275.0%	220.0%	280.0%	210.0%	225.0%	
	A	A	—	—	—	—	
【進捗状況】 総延長1400mの内、640mの改良が完成した。							
【成果指標の総括】 工事費が増大し、2021年度内に目標達成に至らなかったが、今後も、引き続き改良を実施し、地域住民の利便性向上を目指す。							

D 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

A 地産地消の推進

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 学校給食での地域食材利用率の増加 ※市内小中学校の給食における地元食材利用率	58.2%	70.0%	69.8%	98.3%	B	教育総務課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	70.9%	71.8%	70.5%	68.0%	61.9%	69.8%	B
	107.6%	115.3%	104.2%	83.1%	31.4%	98.3%	
	A	A	A	B	C	B	
【進捗状況】 地元産品の活用を意識した献立の作成を行い、地域食材率の増加に努めた。特に2021年度は浜田産のどくろ（尾頭付き）を給食で提供した。							
【成果指標の総括】 栄養教諭、学校栄養士の意識醸成、献立作成の工夫により、概ね目標を達成できた。 天候不良等により、食材調達ができず、達成値が低調に終わったこともあったため、安定的な仕入れルート確保等の対策が課題である。							

E 地域内外の住民との交流・移住促進

ア 定住施策の充実

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① U・Iターナー者数の増加 ※各種支援制度を通じたU・Iターナー者の数（うちIターナー者数） 2018年度以降、目標値を100人に上方修正 <目標達成>	34人	50人					
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	57人 (37人)	95人 (52人)	82人 (45人)	90人 (67人)	127人 (77人)	110人 (94人)	
	143.8%	381.3%	300.0%	350.0%	581.3%	475.0%	
	A	B	—	—	—	—	
	34人	100人	110人 (94人)	115.2%	A	定住関係人口推進課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	57人 (37人)	95人 (52人)	82人 (45人)	90人 (67人)	127人 (77人)	110人 (94人)	A
	—	—	72.7%	84.8%	140.9%	115.2%	
	—	—	B	B	A	A	
【進捗状況】 市の各種支援制度等を通じたU・Iターナー者数は2020年度に比べて減少した。また、島根県人口動態調査による数値も減少した。 【参考】石見部他市の2021年度U・Iターナー者数（島根県人口移動調査）浜田市183人（2020年度浜田市209人）							
【成果指標の総括】 定住相談員を中心に、関係機関と連携しながら、移住相談をワンストップで対応した。さらに、移住相談者の名簿管理を行い、移住希望者の近況やニーズを把握し、定住支援情報を提供するなど、丁寧なフォローを行うことで、移住促進に努めた。							
② U・Iターナー者との意見交換会の開催回数の増加 ※意見交換会の年間開催回数	1回	3回	1回	0.0%	B	定住関係人口推進課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	2回	2回	2回	3回	2回	1回	B
	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%	
	B	B	B	A	A	B	
	【進捗状況】 年2回計画していたU・Iターナー者との意見交換会及び交流会は、新型コロナウイルス感染症の状況により、直前で交流会が中止となったため、1回の実施となった。						
【成果指標の総括】 シングルペアレント就労人材育成事業の新規研修生受入時の歓迎交流会と、U・Iターナー者と地域住民との意見交換会及び交流会を移住定住支援組織と連携して行うことで、浜田市での生活の良さや戸惑いなどを情報共有しながら仲間づくりと地域に馴染めるように努めた。							
③ U・Iターナー相談件数の増加 ※定住フェア、空き家バンク制度等を通じた年間相談件数 <目標達成>	255人	300人	524人	597.8%	A	定住関係人口推進課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	286人	251人	202人	326人	327人	524人	A
	68.9%	-8.9%	-117.8%	157.8%	160.0%	597.8%	
	A	C	C	A	A	A	
	【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響による、東京圏から地方への移住の流れがある中で、新たな施策の取組や定住相談員の丁寧なフォロー等により、相談件数の増加に繋がった。						
【成果指標の総括】 定住相談員を中心に、定住フェアや各種相談会等の移住相談をワンストップサービスで対応した。あわせて、移住相談者の名簿管理を行い、移住希望者の近況やニーズを把握し、定住支援情報を提供するなど、丁寧なフォローを行うことで、移住促進に努めた。							

イ 空き家の利活用

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 空き家バンク登録件数の増加 ※空き家バンクへの年間登録物件数	13件	20件					
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	66件	71件	81件	58件	74件	58件	
	757.1%	828.6%	971.4%	642.9%	871.4%	642.9%	
	A	A	—	—	—	—	
2018年度以降、目標値を71件に上方修正	13件	71件	58件	77.6%	B	定住関係人口推進課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	66件	71件	81件	70件	74件	58件	A
	—	—	119.2%	98.3%	105.2%	77.6%	
	—	—	B	A	A	B	
【進捗状況】 専用IPや市報、浜田地域以外の4地域にチラシを全戸配布するなど、制度周知に努めるとともに、空き家相談員を中心に丁寧な相談対応に努めたが、新型コロナウイルス感染症による行動制限が長期化したことにより、登録件数は減少した。							
【成果指標の総括】 制度周知と、空き家相談員を中心に丁寧な相談対応に努めた結果、空き家バンクの認知度が高まり、空き家の利活用に繋がった。							

ウ 安全で安心なまちづくり

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 自主防災組織の組織率の増加 ※世帯数に対する組織された地域の世帯数の割合	46.5%	85.0%	70.4%	62.1%	B	防災安全課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	65.8%	66.1%	66.1%	66.8%	68.2%	70.4%	B
	50.1%	50.9%	50.9%	52.7%	56.4%	62.1%	
	A	C	C	C	C	B	
【進捗状況】 2020年度から2021年度にかけ、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の合意形成が進まず予定通りの進捗とならなかった。							
【成果指標の総括】 防災出前講座を積極的に実施するなどして組織率向上を目指したが、目標達成まで約15%を残している。今後も組織率向上に取り組む必要があると考える。							
② 防犯出前講座の開催回数の増加 ※講座の年間開催回数	6回	40回	4回	-5.9%	D	防災安全課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	5回	9回	4回	10回	1回	4回	D
	-2.9%	8.8%	-5.9%	11.8%	-14.7%	-5.9%	
	D	B	C	C	D	D	
【進捗状況】 2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により講座依頼が大きく減少し、予定通りの進捗とならなかった。							
【成果指標の総括】 防犯講座については警察への直接依頼が多く、数字が伸び悩んだ。							

A 宣言中心市等における人材の育成

ア 人材の育成

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 市民交流促進事業実施件数の増加 ※大学等と市民団体とが実施する交流事業の6年間の合計件数 <目標達成>	6件	50件	52件	104.0%	A	地域活動支援課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	12件	10件	16件	12件	1件	1件	A
	24.0%	44.0%	76.0%	100.0%	102.0%	104.0%	
	A	A	A	A	A	A	
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響により、大学等が市民との交流活動を自粛された結果、補助金の交付件数は1件のみだった。							
【成果指標の総括】 新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度以後申請件数が伸びなかったものの、2018年度に学生等から申請できるように見直しを図ったことや事業の積極的な周知によって、大学等と市民との交流促進に寄与することができた。							
② 人材育成研修会等の開催回数の増加 ※地域リーダー育成に関する研修会の年間開催回数	2回	6回	1回	-25.0%	C	地域活動支援課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	3回	3回	3回	2回	2回	1回	B
	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	-25.0%	
	B	B	B	B	B	C	
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を一部中止したことにより開催回数は目標達成には至らなかった。実施した事業は、オンデマンドにより開催した。							
【成果指標の総括】 新型コロナウイルス感染症の影響により、計画どおりの開催はできなかったものの、研修会等の開催により、地域リーダーの育成や協働のまちづくりの必要性など住民主体のまちづくりの推進に向けた機運の醸成を図ることができた。							
③ 審議会等への女性参画率の増加 ※浜田市男女共同参画推進計画に掲げる審議会等への女性参画率	25.2%	40.0%	26.8%	10.8%	B	人権同和教育啓発センター	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	27.1%	29.2%	22.9%	24.3%	25.2%	26.8%	B
	12.8%	27.0%	-15.5%	-6.1%	0.0%	10.8%	
	B	B	C	C	B	B	
【進捗状況】 男女共同参画関係団体からの積極的な委員就任を始め、各部署へ女性委員の就任について依頼をしているが、審議会によっては専門的な知識を有する必要があるため、該当者が全て男性のため女性委員不在となる委員会もある。							
【成果指標の総括】 各審議会において、女性委員が就任されるようその必要性の周知と、委員就任時に各部署から積極的に働きかけてもらうよう、毎年開催の庁内の連絡会において依頼をしてきた。特に部内において、委員就任の依頼文書に男女共同参画の観点からの一文を追記してもらうなどした結果、その審議会の女性比率が上がるなど多少なりとも成果が出てきているように感じている。また、多様な意見を反映させる観点からも性別が偏ることがないよう、女性委員ゼロの審議会のゼロにできるよう啓発を進めてきたが、各部署トップダウンで徹底してもらうような啓発及び働きかけが弱かったことなどが、目標達成に結びつかなかった要因と考える。							